



10月31日発行

学校だより

かがや れきし 輝く歴史 ありがとう

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

10月25日(火) 校庭で111周年開校記念集會が行われました。今年のテーマ「立野Bird」をイメージした鳥の絵と「立野小学校へのメッセージ」と「クラスで頑張りたいこと」を各学級で模造紙に描き、全校に発表しました。校庭には冷たい風が吹いていましたが、立野の子どもたちの「わくわく感」や「頑張ろう」の温かい気持ちが伝わる活動となりました。

マスク越しではありましたが「立野小学校校歌」と100周年記念につくられた「輝く歴史 ありがとう」の歌声が校庭に流れ、心が一つになったように感じます。「みらいめざして、進んでく」の歌詞と共に校舎に向かって放たれた歌声は、高い空に吸い込まれていくようでした。

感染症流行の期間には全校が集まっての実施ができなかった避難訓練も、校庭に集合して行っています。訓練終了後の休み時間にふと見ると「あしかいだん」を掃除する6年生の皆さんの姿がありました。上履きのまま校庭避難の訓練をするので、靴底を拭ってもどうしても校舎に砂が入ってしまいます。「気が付いて、そうじをしてくれてありがとう。」の言葉に「前の6年生も、こうしていたので…」とさりとした答えが返ってきました。学校の文化はこのようにして、受け継がれていくのかと感じました。子どもたちが日々学校生活を過ごす中で、「素敵だな」「自分もやってみたいな」「できた」と思ったり取り組んだりすることが、お互いに影響しあって成長につながっています。一つ一つの学習活動や行事、学校生活のリズムが、立野小学校に暮らす子どもたちの糧となるよう、これからも心して取り組んでいきたいと思いました。

11月25日(金)には「ソニー子ども科学教育研究全国大会」の公開授業を計画しています。昨年度ソニー教育財団による「ソニー子ども科学教育プログラム」において最優秀校に選出されたことを受け、日頃の子どもの学びの姿を公開することになりました。感染症対策を取り参加人数を制限した上で、全国からの参観者をお呼びする予定です。本校では子どもの思考に寄り添った学習展開を工夫し、子どもたちが学びあい、自らの学習を振り返る姿を丁寧に見取る挑戦を続けています。子どもたちが学習活動に熱中する姿、見方や考え方が変わり深まっていく姿を、いつも通りに参観の皆さんに見ていただきたいと考えています。25日当日の保護者の皆様の授業参観は実施しませんが、日頃の学習の様子は12月3日(土)にご参観いただけるよう計画しています。

急に気温が下がり、ススキの穂が風に揺れ、寒さがやってきました。今月もよろしく願いいたします。